日立市サッカースポーツ少年団創設者　　大越典一先生の足跡。

2024 年（令和６年）　２月３日　永眠。９５歳

大越先生との思い出に浸る方は大勢おられると思います。

ご家族からお聞きしたお話と、私の先生と思い出の中にあるサッカーでの足跡を書き留めました。

＊日立市教育長として、日立市サッカー協会の副会長としての重責に就かれながら子供たちとの

　サッカーに対する熱い思いは最後まで続けられました。

※２０２１年９月１０日　日本サッカー協会「１００周年記念事業　功労賞受賞。」

1950 年（昭和２５年）　　助川小学校（勤務先）にて子供たちにサッカー指導を始める。

　　日立市サッカー少年団　指導開始　当時　後の鹿島アントラーズ初代監督

　　故宮本征勝氏（日立一高→早稲田大学　日本代表　Mexico オリンピック出場）

　　も生徒として指導を受けた。

1962 年（昭和 42 年）サッカー少年を育てる会を起案

　　助川小学校・大久保小学校会場に「日立市サッカー少年団」を創設　活動を始める。

　　（現在の日立市スポーツ少年団開設より５年前に活動を始めました。）

　※8 月全日本少年サッカー大会に監督として茨城県予選会に参加　以降 10 年間

　監督として県大会を勝ち抜き全日本少年サッカー大会に出場。

　強豪　清水 FC を破り全国ベスト８の成績を収めた。

　並行して　成沢サッカースポーツ少年団の団長を務める。

2005 年（平成 17 年）小学４年生を対象に　サッカーに対するプレーの喜びと基本的な力が

　育つようにと市内少年団に働きかけ「大越杯サッカー大会」を創設する。現在に至る

2023 年（令和５年）９月 23 日も子供たちの成長を楽しみに会場に足を運ばれた。

2024 年２月９日

記　日立市サッカー協会　会長　伊藤和彦